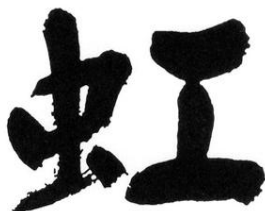




BMT 神奈川の HP はこちら



題字：慈雲老大師（円覚寺派前管長）

■編集・発行／神奈川骨髓移植を考える会（略称：BMT 神奈川）

〒254-0042 神奈川県平塚市明石町 24-25-309 黒部設計事務所内 発行責任者／村上忠雄
TEL:090-4713-7300 FAX :0463-25-1383 <https://www.bmtkanagawa.com/> E-mail:bmtkanagawa@gmail.com

当会のメールアドレスが変わりました

■日本骨髓バンク <http://www.jmdp.or.jp> ■全国骨髓バンク推進連絡協議会 <http://www.marow.or.jp>

令和 7 年度 通常総会のご報告

6 月 28 日（土曜日）神奈川県赤十字血液センター会議室にて

黒部事務局長の司会により「会員数 122 名、出席 24 名、ハガキ返信 78 名、議案承認数 50 名であることから総会が成立します」と発表があり議事が始まりました。

第 1 部では、村上会長から「新規会員が増えて活動が活性化しています」との挨拶の後、会場をお借りした神奈川県赤十字血液センター登録課長梅崎和秀氏から「猛暑の中での献血及び骨髓ドナー登録の推進ご支援に感謝しています。神奈川県では大学での実績を上げています」とのご挨拶を頂きました。

式次第のとおり、第 1 号議案「令和 6 年度活動報告」、第 2 号議案「令和 6 年度会計報告」第 3 号議案「令和 7 年度役員(案)」、第 4 号議案「令和 7 年度事業計画(案)」、第 5 号議案「令和 7 年度予算 (案)」が発表され、すべて承認されました。



患者サポート部のコットンキャップから「1 年間で 923 枚の販売があり順調です」と報告がありました。

第 2 部では岩崎副会長より「ドナー登録会では申込用紙の記入漏れに注意、説明員は呼びかけをする役割なので、強引に勧誘しないように」との話がありました。その後、2 グループに分かれて会員が日頃感じている疑問や考えをお聞きするなど、新しい活動を広げていくためのアイデアを出し合いました。

総会後は会場を居酒屋へ移して、おいしい肴を頂きながらの楽しい宴となりました。（中島）

令和 6 年度（2024 年度）収支決算報告書

（令和 6 年 6 月 1 日～令和 7 年 5 月 31 日）

《収入の部》

項 目	令和6年度 決算	令和6年度 予算
会 費	295,000	320,000
寄 付 金	291,000	300,000
募 金	216,090	150,000
事業収入	567,500	800,000
販売収入	55,200	100,000
活動助成金	109,000	100,000
雑 収 入	13,142	41
小 計	1,546,932	1,770,041
前年度繰越金	3,194,216	3,194,216
合 計	4,741,148	4,964,257

《支出の部》

単位：円

項 目	令和6年度 決算	令和6年度 予算
事 業 費	693,725	1,200,000
会 議 費	21,170	20,000
全国協関連	12,000	12,000
通 信 費	290,448	200,000
広報・印刷費	135,377	130,000
物品購入費	129,635	130,000
事務用品費	91,491	90,000
事務局費	170,000	170,000
交際・雑費	58,580	30,000
寄 付 金	10,000	10,000
予 備 費		2,972,257
小 計	1,612,426	4,964,257
次年度繰越金	3,128,722	
合 計	4,741,148	4,964,257

第 30 回 円覚寺チャリティーコンサート

♪ (5月17日 鎌倉円覚寺方丈)

あいにく小雨模様の日でしたが、ヴァイオリンの水戸素子さん、チェロの小澤洋介さん、ピアノの高田匡隆さんによるピアノ三重奏のタベが開催され、193 名の方にご来場いただきました。



今年も小原流鎌倉支部様が舞台を飾るお花を活けてくださいました。舞台の演出に欠かせない素晴らしい作品に感謝いたします。

骨髄ドナー登録説明員養成講座の開催

主催：神奈川県

(8月30日 かながわ県民活動サポートセンター)

募集人数を超えた 21 名が受講され、19 名の方が当会へ入会されました。すでに、ドナー登録会やイベントに積極的に参加しています。

ジャパンキャンサーフォーラム 2025

(8月2・3日 国立がん研究センター)

築地キャンパス研究棟)

「つながる力が拓く未来～知識と交流が生む新たな希望～」をテーマに開催されました。専門家による医療の最新情報提供の講演や、参加者同志が知見を共有する場が提供されました。

当会は患者さんやご家族を支援するブースを担当しました。虎ノ門病院血液内科の内田直之先生をお迎えして「急性白血病交流会」を開催しました。来場者は病院の診察室では話せない悩みなどをお話くださいました。専門の先生や同じ経験を持つ仲間と共有する貴重な時間となりました。



私たちは希望するだれにもドナー候補が見つかるように活動しています。今では多くの方にドナー候補が見つかるようになり、移植を受けるか受けないかを選べるようになりました。とはいえ、患者さんにとっては選べるからこそ葛藤があるかもしれません。

以下は、キャンサーネットフォーラムに初めて参加した、当会の会員の個人として思を寄せてくださいました。

(中島)

「移植ハラスメント」

今回、急性骨髄性白血病の患者さんの患者交流会に出席し、患者さんから衝撃的な言葉を聞きました。それが「移植ハラスメント」です。医療者や移植によって助かった方々は患者さんに元気になってほしいため移植を勧めますが、移植を望まない患者さんにとって「移植、移植」と追い込まれると、時にそれは説得から脅迫となり患者さん自身を傷つけ苦しめることとなります。患者さんの思いをもっと聞かなければならないと考え、骨髄バンクの向かいのブース「がん哲学外来」(初めて知りました)の患者サロンにも出席し、患者さんの思いを聞いてきました。患者さんの思いに近づくには「対話」を重ねるしかないことがわかりました。移植を望まない患者さんも実は、自分らしく生きるための生き方を模索していました。

私なりに整理したことは、まずはニュートラルな気持ちで患者さんの治療に対する思いだけでなく、仕事のこと、家族のこと、いろいろなお話を聞かせてもらい、対話を重ねること。その上で患者さんとお互い納得できる着地点を模索すること。患者さんがどのような選択をしても、その後も患者さんの人生は続きます。そこに寄り添える存在であればと思いました。(鈴木)

GIBUN 手づくり市

(9月13日 関内横浜市技能文化会館多目的ホール)

会員の手作り品の販売と、BMT やコットンキャップの広報活動をしました。

骨髄ドナー登録説明員養成講座

～横須賀市保健所主催で初めて開催～

(10月18日 横須賀市保健所第1研修室)

これまで横須賀市では骨髄ドナー登録説明員養成講座を開催したことがありませんでしたが、より多くの市民の皆さまに、ドナー登録への関心や理解を深めていただける具体的な機会をつくりたいと考え、今回企画しました。神奈川県では年2回講座が開催されていますが、市内で実施することで地元の方が参加しやすく、地域と

のつながりを大切にしたい普及活動につながると考えたことが開催の大きなきっかけです。神奈川骨髓移植を考える会の皆さまに講師をご担当いただき、少人数ならではの実践的で充実した内容となりました。今後も普及啓発や、特に若い世代にも興味を持ってもらえるような方法を検討しながら、一人でも多くの方の骨髓ドナー登録につなげていけたらと思っています。開催にご尽力いただいた皆さまに、この場をお借りして心より感謝申し上げます。（横須賀市保健所 小野）



さがみはら市民活動フェスタ

（10月5日淵野辺公園中央広場）

秋の暑い日、骨髓バンククイズで広報活動とともに、会員の親睦や他の団体との交流を深めました。

2025 グリーンリボンランニングフェスティバル



（10月13日駒沢オリンピック公園総合運動場）

“グリーンリボン”は世界的な移植医療のシンボル。“Gift of life”（いのちの贈りもの）によって結ばれた、いのちのつながりを表現しています。毎年体育の日に開催される、グリーンリボンランニングフェスティバルに参加。42.195kmを9名でタスキを繋ぎ、今年も完走しました。記録は4時間を切って3時間59分20秒。ランナーも応援団もみんなゴールを目指し、達成感や団結感で一日中大興奮です。感動と笑顔のリレーに、来年はあなたも参加してみませんか？（星野）



説明員フォローアップ研修



（10月11日かながわ県民活動サポートセンター）

説明員養成講座を受けて BMT 神奈川の会員になったけれど、どう活動していいかわからない・・・というご意見をを受けて初めて開催しました。今回のプログラムはドナー経験者と移植経験者のお話を聞いた後に、グラビアを使って説明の補習、スマホからエントリーする方法などをご説明しました。養成講座では伝えきれなかったことを、対面でお伝えすることができました。なごやかな雰囲気での2時間でした。最初の一步をフォローできたと思います。

コットンキャップワークショップ開催

ドイツの製薬会社ベーリンガーインゲルハイム社の日本法人から社員の社会貢献プログラムとして、コットンキャップのWSを開催してもらえませんかと言う出張WSのオファーがあり10月2日にコットンキャップスタッフとサポーターさん5名で行って参りました。

WSの前には骨髓バンクとBMT神奈川の活動紹介もスライドを使ってさせていただきました。参加者さんは様々な部門の22名で海外ご出身の方もいらっしゃいました。皆さん真剣に取り組んで



くださり「こういう活動がある事を初めて知った」「自分の作ったものが誰かの役に立つと思うとやりがいがある」などの感想をいただき大変有意義な一日となりました。（小野里）

骨髓バンクより2つの発表がありました 皆さまに感謝いたします



◎5月22日に日本における骨髓バンクドナー登録者数が累計100万人達成いたしました。（日本骨髓バンク：プレスリリース 2025.6.4より）

◎10月31日に骨髓バンクを介した移植が3万例に到達しましたとの発表がありました。（日本骨髓バンク：プレスリリース 2025.11.14より）



ドナー登録会でのちょっといい話



～あなたの一步が、誰かの未来を創る～

真夏の強い日差しが照りつける7月12日、中山駅前での骨髓ドナー登録会。献血バスの前で、汗を流しながら呼びかけを続けていた私たちに、一人の若い女性が声をかけてくれました。

「この前、ドナーになることができました。皆さんにお礼が言いたくて」そう話す彼女は、献血バスを見かけて、立ち寄ってくれたとのこと。ドナーとして誰かの命を救うという素晴らしい経験をされたばかりの、その清々しい表情は、言葉にならない喜びと、活動が続けることへの確かな手応えを私たちに与えてくれました。

ドナー登録は、時に「大変そう」「怖い」といったイメージを持たれるかもしれません。しかし、登録する勇氣、そして協力者としての一步を踏み出すことが、どれほど多くの人を笑顔にし、希望を与えているか。この日、彼女の感謝の言葉を通して、私たちはその確かな重みを感じました。（山崎）

新春らくご会のお知らせ

2026年1月24日14:00から鎌倉円覚寺内の寿徳庵にて、立川生九郎さんをお迎えして開催します。笑う門には福来る。新年に初笑いで福を呼び寄せましょう。落語好きな方も初めての方もご来場をお待ちしております。

詳しくは当会ホームページをご覧ください。



◆バス登録会実施結果（R7年5月～11月）

開催数 136回 登録 896名／説明 1300名

◆献血ルーム登録数集計（R7/5月～11月27回）

	かわさき ルフロ (7回)	横浜スカイ (6回)	横浜 Leaf (7回)	海老名 (7回)
合計	58/73	62/94	56/82	31/43

(登録数/説明数)

ビル建物総合管理・施設警備
有限会社 白朝サービス社

神奈川県横須賀市汐入町4-28

TEL: 046-825-7180 FAX: 046-825-7163

《ご寄付＆募金のご報告》 みなさまありがとうございました

《ご寄付》

横田 南嶺様	30,000円
齋藤 宗憲様・雅美様	30,000円
岡本 恭子様	10,000円
網野 佐太雄様	5,000円
高橋 真知子様	10,000円
日馬 勝様・明子様	11,000円
宮良 恵美子様	5,000円
風間 明彦様	10,000円
匿名様	6,000円
高橋 道子様	10,000円
天 法楽様	30,000円
岩崎眞一郎様・幸代様	4,000円
田中 一道様	7,000円
横浜泉ライオンズクラブ様	10,000円
飯塚 桂子様	3,000円
梶川 博子様	150,000円
関 清様	10,005円

《募金箱》

円覚寺チャリティーコンサート募金箱	36,510円
GIBUN 手作り市募金箱	1,000円
相模原市民活動フェスタ募金箱	3,150円
大磯ウインドアンサンブル	
ウインターチャリティーコンサート募金箱	96,281円

私たちの活動は善意のご寄付で支えられています。
ご協力をお願いいたします。

++ 寄付の振込先 ++

◎ゆうちょ銀行から

郵便振替口座：00230-8-55751

加入者：神奈川骨髓移植を考える会

◎銀行からゆうちょ銀行へ振り込む場合

支店：〇二九(ゼロニキュウ)支店

当座 0055751

口座名：神奈川骨髓移植を考える会

本紙に掲載されている個人名や金額につきましては
ご本人の承諾をいただいております。

【訃報】当会会員の齋藤敏雄さんが10月にご逝去されました。お仕事をしながら、患者サロンの担当リーダーとして活躍してくださいました。最後に企画した第15回患者サロンが12/20に開催されます。家族のために頑張ると話してくださった齋藤さん。永い間ありがとうございました。

謹んでお悔みとご冥福をお祈りします。